

ABIKKO
SPORTS

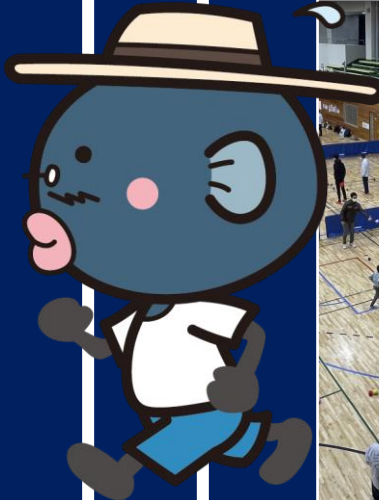


我孫子市 スポーツ推進計画

2023年度 - 2027年度



令和5年3月
我孫子市



はじめに

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進をはじめ、爽快感などの精神的な充足感の獲得、生活習慣病の予防、ストレスの発散、人と人、地域と地域の交流の促進など、明るく豊かな生活を送るうえで必要不可欠なものとなっています。

一昨年、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響から無観客での開催となりましたが、日本人選手の大活躍もあり、大いに盛り上がりました。本市にゆかりのある車いすラグビー日本代表の今井友明選手もチームの中心選手として銅メダルの獲得に貢献されました。選手の方々の勇姿は、人々に笑顔と勇気を届け、スポーツの持つ意義や価値を改めて体感することができました。

さて、本市では、手賀沼周辺でランニングやウォーキングを楽しむ方、各施設で様々な競技を楽しむ方がよく見受けられ、豊かな自然の中で活発にスポーツ活動が行われています。中学生から大学生までの全国レベルでの活躍やNECグリーンロケッツ東葛が練習拠点を設けて活動するなど、スポーツがとても盛んな街でもあります。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症は、人々の生活に大きな影響を及ぼしていますが、スポーツ活動においても例外ではなく、スポーツ施設が利用停止になり活動を休止する団体や子どもたちがマスクを着けながら体を動かすなど、スポーツ活動自体が縮小される時期が続きました。本市主催イベントでも、「手賀沼エコマラソン」や「うなぎちカップ」をはじめ、市民の方々が多く参加するイベントで中止を余儀なくされ、交流の機会が失われました。3年が経過した現在では、様々な制約が設けられ困難な状況が続いた中、それぞれが創意工夫しながらスポーツ活動を続けたことにより、これまでとは形を変えてスポーツ活動が再開されています。

本市においては、これまでスポーツ推進に関する内容に特化した計画を設けていませんでした。令和4年度より、国では「第3期スポーツ基本計画」が、千葉県では「第13次千葉県体育・スポーツ推進計画」が策定され、スポーツ推進に関する施策を計画的に進めています。こうした状況を踏まえ、大きく変化する社会情勢や多様化するライフスタイルの中でも、市民が継続的にスポーツに親しむことができるよう、我孫子市スポーツ推進計画を策定しました。今後は本計画に基づき、スポーツ活動の推進、各施設の管理・運営・整備を計画的に進めることで、子どもから大人まで誰もが気軽にスポーツに親しみ、子どもたちが夢を持ってスポーツに取り組める環境づくりに努め、スポーツを通じた地域の活性化を目指していきます。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただいた我孫子市スポーツ推進計画策定委員の皆さまをはじめ、スポーツ関係団体、アンケート調査にご協力いただいた市民の皆さまに、心から感謝を申し上げます。

令和5年(2023年)3月

我孫子市長 星野 順一郎



目次

第1章 計画の概要(P3～P6)

1.計画の趣旨.....	4
2.計画の位置づけ.....	5
3.計画の期間.....	6

第2章 我孫子市のスポーツを取り巻く現状と課題(P7～P17)

1.我孫子市の状況.....	8
2.アンケート調査から見る課題.....	11

第3章 計画の構成(P18～P20)

1.基本理念.....	19
2.基本目標.....	20

第4章 計画の重点施策(P21～P27)

基本目標1 スポーツの定着化

(1)子どもから大人まで誰もが生涯にわたってスポーツに参加できる環境の充実.....	23
(2)スポーツによる健康増進.....	24
(3)パラスポーツの推進.....	24

基本目標2 スポーツ施設の有効活用と充実

(4)施設の整備と有効活用.....	25
--------------------	----

基本目標3 スポーツ活動を支える体制づくり

(5)スポーツ団体・プロスポーツチームの支援と協力・連携.....	26
(6)スポーツに取り組む方の支援とスポーツ指導者の育成.....	27

用語集・資料集(P28～P31)



第1章 計画の概要



1. 計画の趣旨

スポーツは、心身の健康や体力の維持・増進、生活習慣病^(※)予防など豊かな生活を送る上で、不可欠なものとなっています。

近年、少子高齢化の進行や、新型コロナウイルスの流行など社会環境が大きく変化中、スポーツを取り巻く環境も大きく変化しています。新型コロナウイルスが流行する状況下では、スポーツ活動の延期・中止を余儀なくされ、スポーツに親しむ機会が失われました。本市においても、スポーツイベントの中止、施設の閉鎖など、市民のスポーツ活動に大きな影響を及ぼしました。

国では、令和4年3月に「第3期スポーツ基本計画^(※)」を策定し、スポーツ参画人口の拡大をはじめ、3つの新たな視点「つくる/はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」に立ち、必要な施策を推進するとしています。

千葉県においても、「第13次千葉県体育・スポーツ推進計画^(※)」を策定し、ライフステージ^(※)に応じた多様なスポーツを、全世代において日常的に行うことを推進するとしています。

こうした状況を踏まえ、本市では、ライフステージや社会環境に合わせたスポーツ推進を行うと共に、市民の方々が様々なスポーツに取り組める機会を整え、子どもたちが夢を抱いてスポーツに取り組むことができ、子どもから大人まで生涯にわたってスポーツを楽しむことができる施策を計画的に進めていくために、「我孫子市スポーツ推進計画」を策定することとしました。

本計画における「スポーツ」の定義

本計画の「スポーツ」は、ルールに基づいて勝敗・記録を競うスポーツや健康づくりのためのウォーキング、体操等をはじめとした「する」スポーツだけでなく、スタジアムやテレビ等で観戦する「みる」スポーツ、スポーツボランティア等の「ささえる」スポーツなど、スポーツに関する全てを含みます。

なお、「eスポーツ^(※)」については、今後の国の動向や実施状況等を踏まえながら、市としての推進を検討するものとし、今回の計画内では対象外とします。

第3期スポーツ基本計画の新たな3つの視点

国の「第3期スポーツ基本計画」では、第2期スポーツ基本計画(H29～R3)で示した、国民がスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すには、以下の新たな3つの視点が必要としています。本市の計画においても、「3つの視点」を十分考慮して、スポーツ振興を推進する必要があります。

スポーツを「つくる/はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、改善し、最適な手法・ルールを考え、作り出す。

- ・多様な主体が参加できるスポーツの機会創出
- ・自主性・自律性を促せるような指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成

スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、課題の対応や活動の実施を図る。

- ・スポーツを通じた共生社会の実現
- ・スポーツ団体の管理体制・経営力強化、関係団体等の連携・協力を通じたスポーツ体制の強化

スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や国籍、年齢、障害、経済、地域事情等の違い等によって、スポーツ活動の開始や継続に差が生じないような社会の実現や機運の醸成を図る。

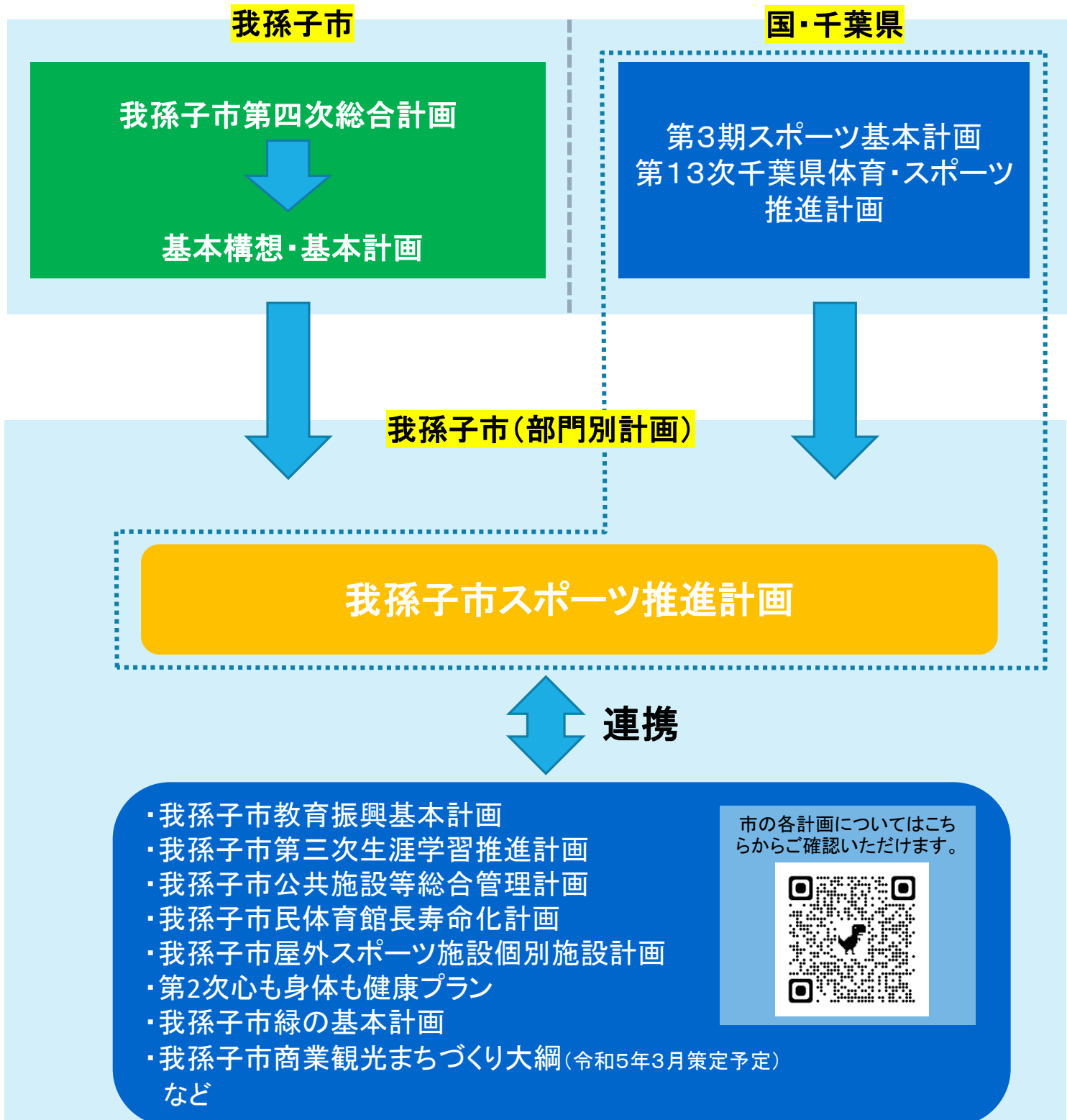
- ・地域において、住民の誰もが気軽に親しめる「場づくり」等の機会の提供

2. 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条第1項に規定されている「地方スポーツ推進計画」として策定するものです。

計画の策定にあたっては、国の「第3期スポーツ基本計画」及び県の「第13次千葉県体育・スポーツ推進計画」を参考にして策定します。

また、スポーツに関する部門別の計画として、市の「我孫子市第四次総合計画」等、関連計画との整合性を図ります。





SDGsとの関係

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、2030年を期限とし、世界のすべての国々、すべての人々が「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して取り組む世界共通の目標で、2015年9月の国連サミットで採択されました。

SDGsは17の目標と169のターゲット、232の指標から成り立っており、その達成には、国際機関、国、産業界、自治体と市民が一丸となって取り組むことが求められています。

我孫子市スポーツ推進計画において取り組む施策もSDGsに関係します。施策の推進にあたっては、幅広い視点を取り入れることで、相乗効果が期待できるため、計画と一体的に推進します。

SDGsの関係する目標

 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進しよう</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>すべての人が受けられる公正で質の高い教育の完全普及を達成し、生涯にわたって学習できる機会を増やそう</p>

3. 計画の期間

本計画の期間は、国の「第3期スポーツ基本計画」に準じ、令和5年度(2023年)から令和9年度(2027年)までの5年間とします。

計画の推進にあたっては、期間内であっても国・県・関係各課の動向を注視し、市民のニーズに合わせたスポーツ振興を行います。また、市民のスポーツに対する意識や最新の動向を把握するために、計画の終了期間に合わせて、アンケート調査を実施する予定です。

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
第3期スポーツ基本計画	→					→							第4期
我孫子市スポーツ推進計画	→		→								→		第2期
我孫子市第四次総合計画	→												

第2章 我孫子市のスポーツを 取り巻く現状と課題



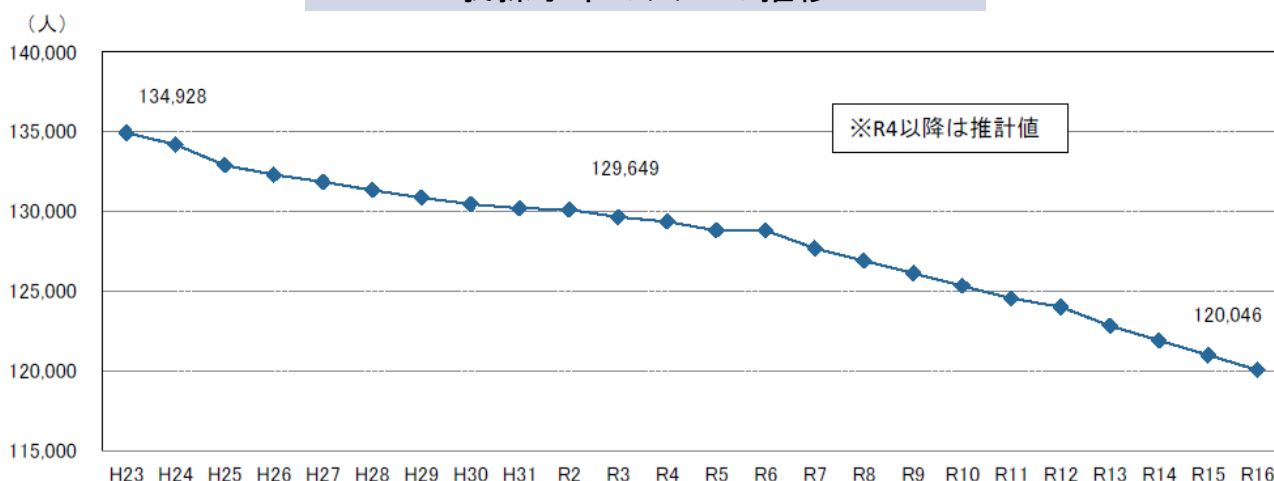
1. 我孫子市の状況

(1)人口

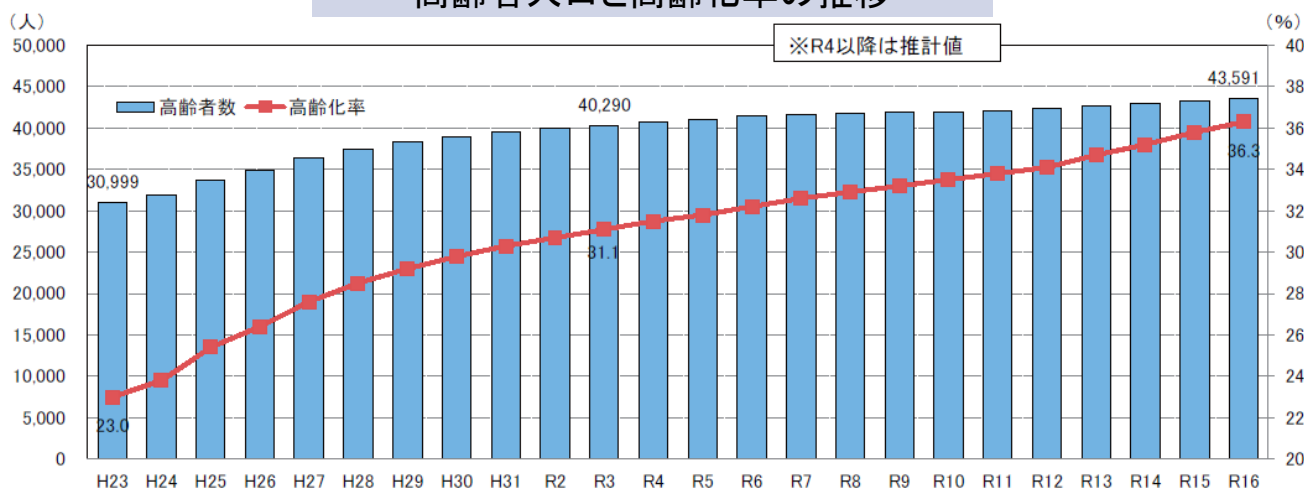
本市の人口(日本人のみ)は、平成23(2011)年に134,928人でピークを迎え、その後は減少に転じています。令和3(2021)年には129,649人と、ピーク時と比較して5,279人減となっています。国立社会保障・人口問題研究所のデータを基にした市独自の推計では、令和16(2034)年には、120,046人まで減少するとされています。

全体の人口が減少する一方、高齢者人口は増加し続けており、高齢化率は年々上昇しています。推計では、令和16(2034)年には高齢者人口は43,591人、高齢化率は36.3%に達するとされています。

我孫子市の人口の推移



高齢者人口と高齢化率の推移



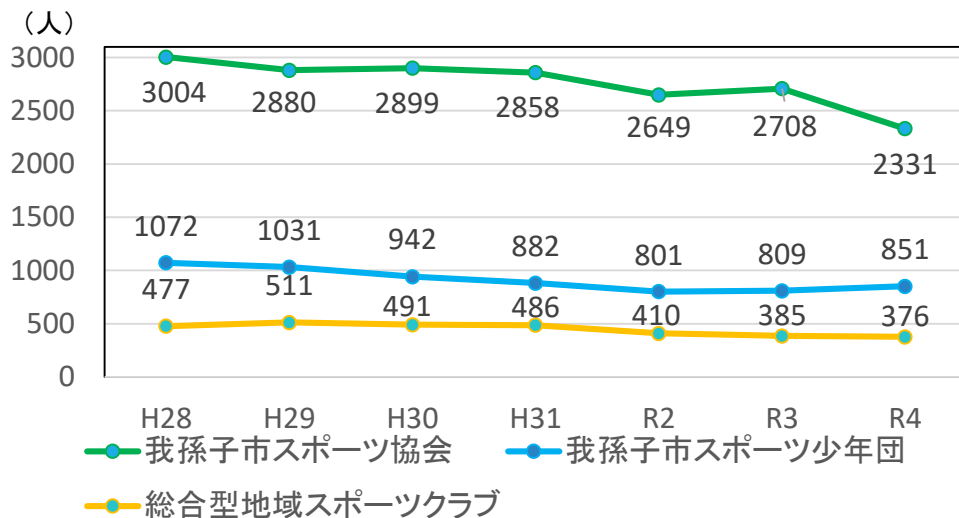
資料:「我孫子市第四次総合計画 人口の見通し」より

第2章 我孫子市のスポーツを取り巻く現状と課題

(2) スポーツ団体等の会員数

団体名	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
NPO法人我孫子市スポーツ協会	3,004	2,880	2,899	2,858	2,649	2,708	2,331
我孫子市スポーツ少年団	1,072	1,031	942	882	801	809	851
総合型地域スポーツクラブ	477	511	491	486	410	385	376

スポーツ団体 会員数推移



【概要】

□NPO法人我孫子市スポーツ協会

全20団体が加盟し、各競技ごとに、市民体育館をはじめとした市内公共スポーツ施設を中心に活動しています。スポーツ大会開催、市スポーツ振興事業への協力等、スポーツ分野において幅広く活動・事業を展開しています。

□我孫子市スポーツ少年団(※)

野球、サッカー、ミニバスケット、卓球、合気道の全27団体が活動しています。各競技の練習・大会に加え、交流駅伝大会の開催など、子どもの健全な育成に寄与しています。

□総合型地域スポーツクラブ(※)

市内では、6クラブが小学校、五本松運動広場を中心に活動しており、令和5年度からは、1クラブが新たに活動を開始する予定です。多様目・多世代をテーマに、様々なスポーツに取り組んでいます。令和4年度は、376名の会員が在籍していますが、近年減少傾向となっています。

【課題】

- ・全団体において、会員数の減少、役員の担い手不足が挙げられます。また、会員数の減少に伴い、有資格指導者も減少傾向にあります。
- ・総合型地域スポーツクラブにおいては、会員数の減少に加え、高齢化も加速しています。

→各団体の認知度を向上させるための活動や、新種目の実施等が必要となります。

第2章 我孫子市のスポーツを取り巻く現状と課題

(3) 我孫子市のスポーツ施設



施設概要

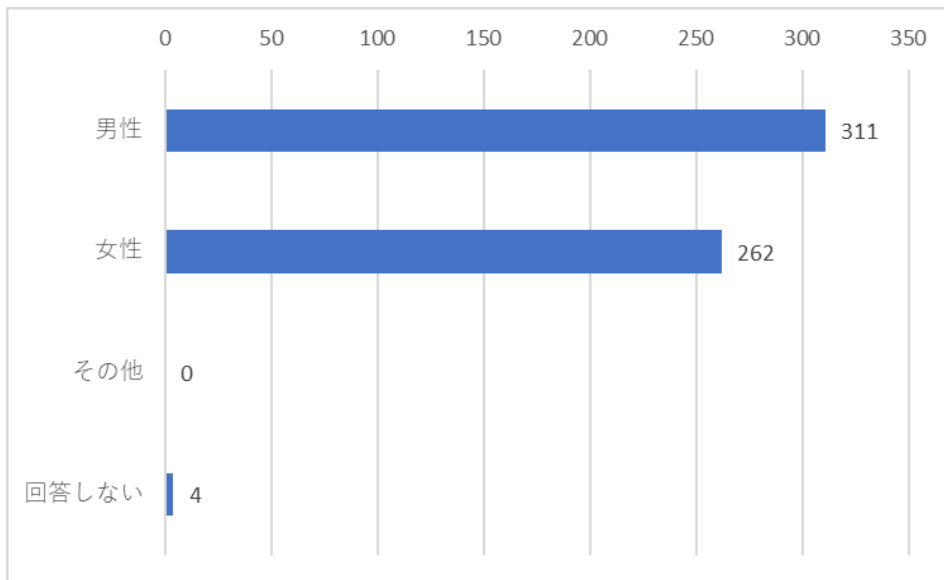
施設名	施設面積(m ²)	所在地	運営
①つくし野多目的運動広場	872	つくし野5-5-32	運営業務委託
②手賀沼公園庭球場	2,361	若松26	指定管理者
③五本松運動広場	31,826	岡発戸1433-2	直営
④上沼田野球場	29,900	上沼田17-2	管理業務委託
⑤湖北台中央公園(野球場・庭球場)	12,195	湖北台7-5	指定管理者
⑥ゲートボール場	7,927	中峠	直営
⑦我孫子市民体育館	31,118	古戸696	指定管理者
⑧利根川ゆうゆう公園	138,720	古戸地先	指定管理者
⑨新木野野球場	10,728	古戸字谷下786-1	直営
⑩浅間前多目的広場	37,208	浅間前136	直営
⑪布佐下多目的広場	10,593	布佐2157	直営

2. アンケート調査から見る課題

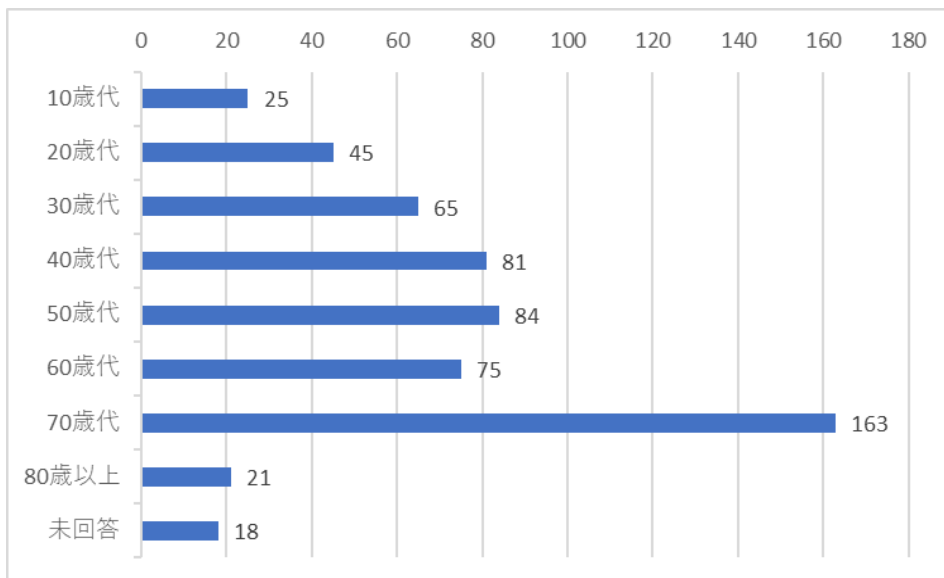
計画の策定に伴い、現状の課題把握等を行うため、アンケート調査を実施しました。

アンケート実施概要	
アンケート期間	令和4年7月25日～令和4年9月10日
調査対象	10歳以上
アンケート方法	・ちば電子申請サービス ・紙面回答
アンケート回答数	577件

性別(人)

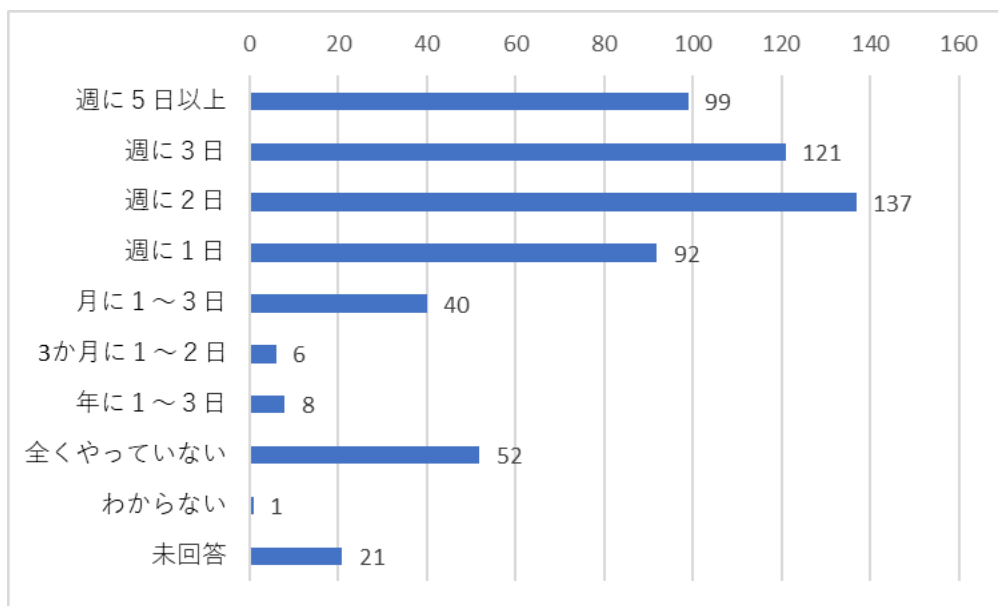


年齢(人)

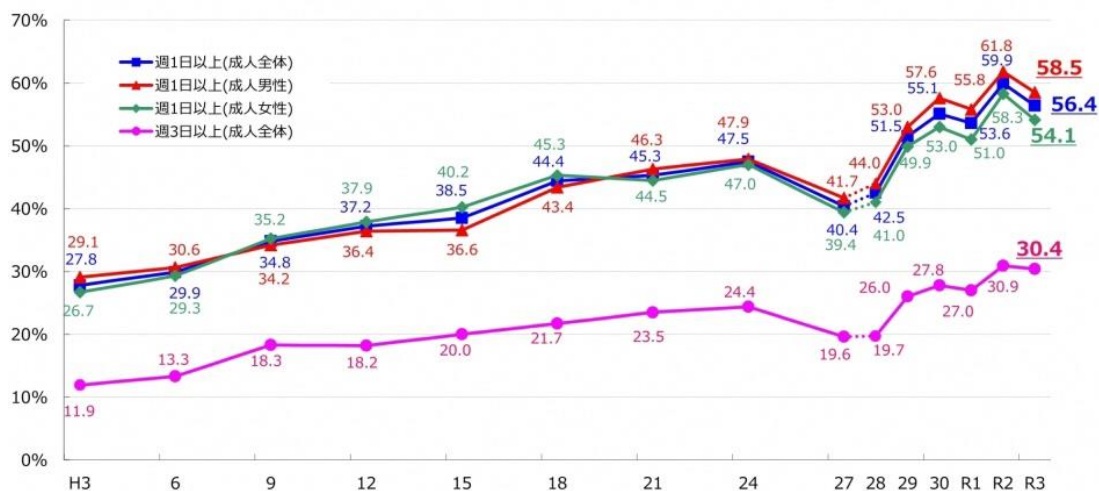


主なアンケート結果

あなたが、スポーツに取り組む日数は、どれくらいですか。



(参考) 成人のスポーツ実施率の推移

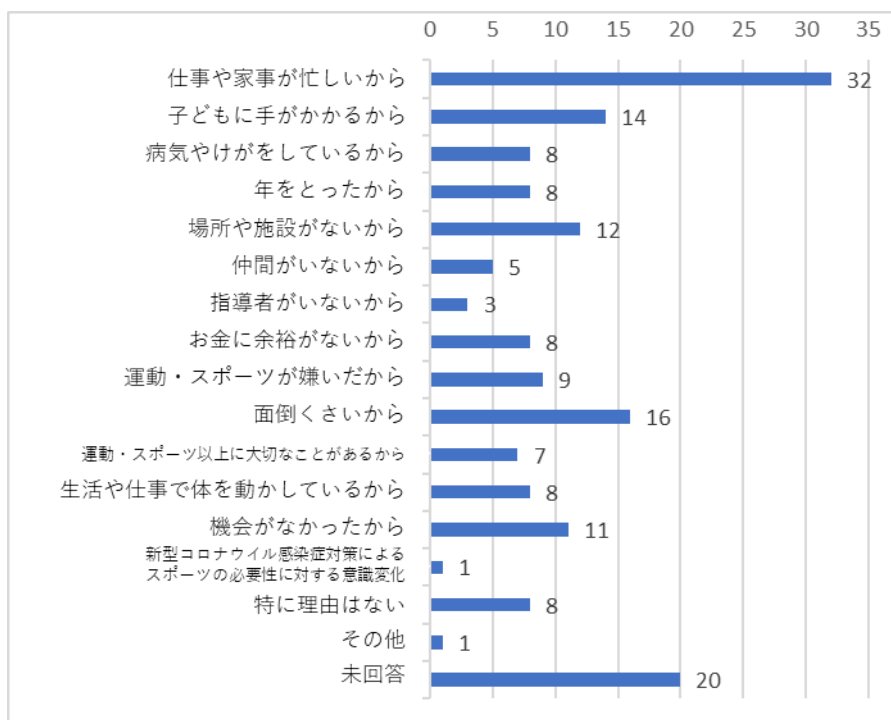


資料: スポーツ庁「令和3年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」より

週に1日以上取り組む方が全体の7割という結果になり、多くの方がスポーツに取り組んでいることがわかります。しかし、「全くやっていない・年に1～3日」など頻度の低い方も一定数いる結果となりました。

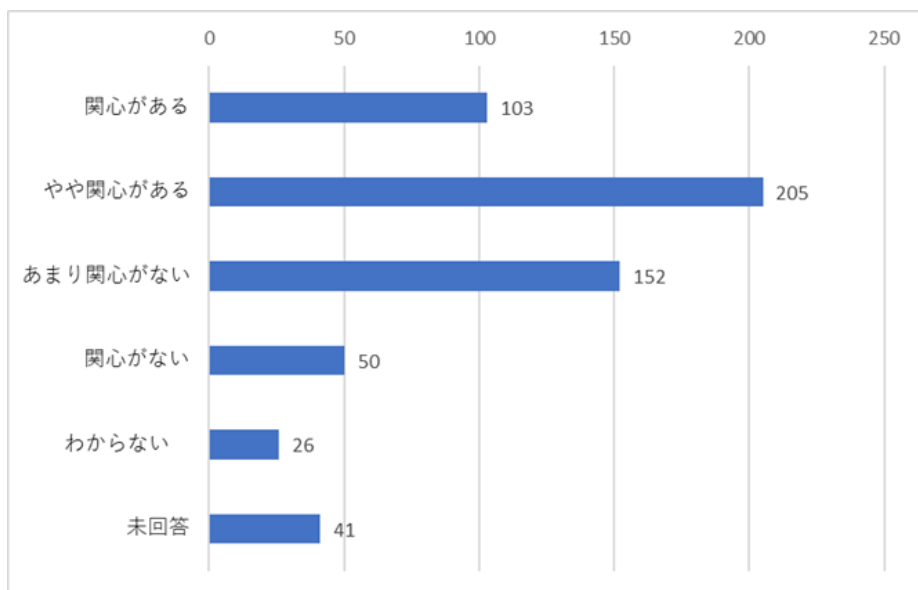
主なアンケート結果

あなたが、スポーツをしない理由は何ですか。



スポーツを全くやっていない方の理由として、「仕事や家事が忙しいから」という回答が最も多くなりました。次いで「面倒くさいから」という回答が多く、スポーツや運動への関心が低い方が一定数いると考えられます。また、「子どもに手がかかるから」という回答も多く、仕事や家事、子育てが忙しいことから、スポーツや運動に取り組む余裕がないことが考えられます。

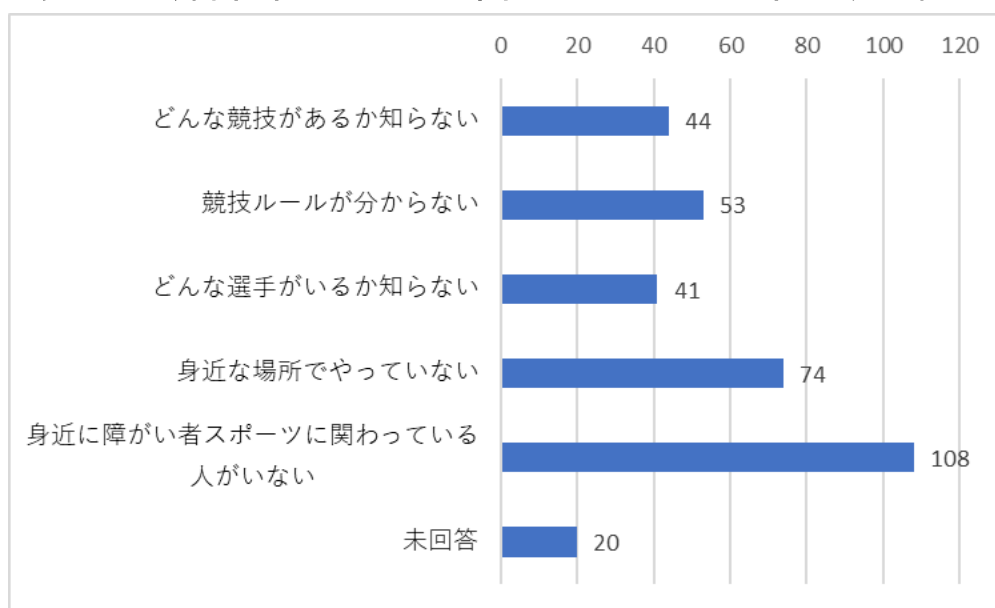
あなたは、障害者スポーツに関心がありますか。



約4割の方が「関心がない・あまり関心がない・わからない」と回答していますが、「関心がある・やや関心がある」と回答した割合が5割を超えており、東京2020オリンピック・パラリンピック等をきっかけに、少しずつ関心が高まっていると考えられます。

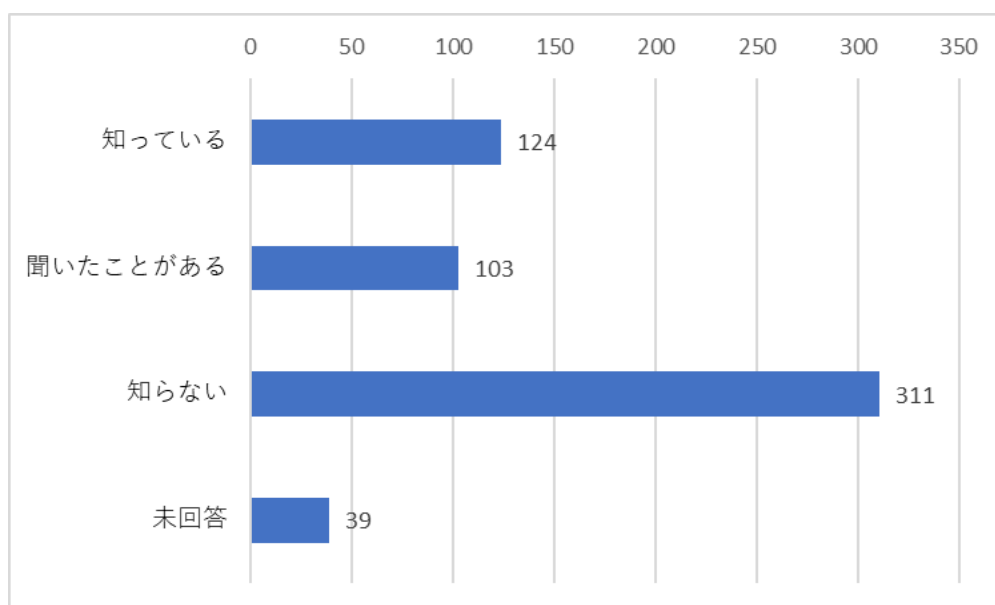
主なアンケート結果

あなたが、障害者スポーツに関心がない理由は何ですか。



関心がない理由としては、「身近に障害者スポーツに関わっている人がいない」、「身近な場所でやっていない」という回答が多く、普段から、障害者スポーツに触れる機会が少ないことが考えられます。

文部科学省は、住民が主体的に参画する地域のスポーツクラブとして、総合型地域スポーツクラブの活動を支援しています。あなたはこの「総合型地域スポーツクラブ」をご存じですか。

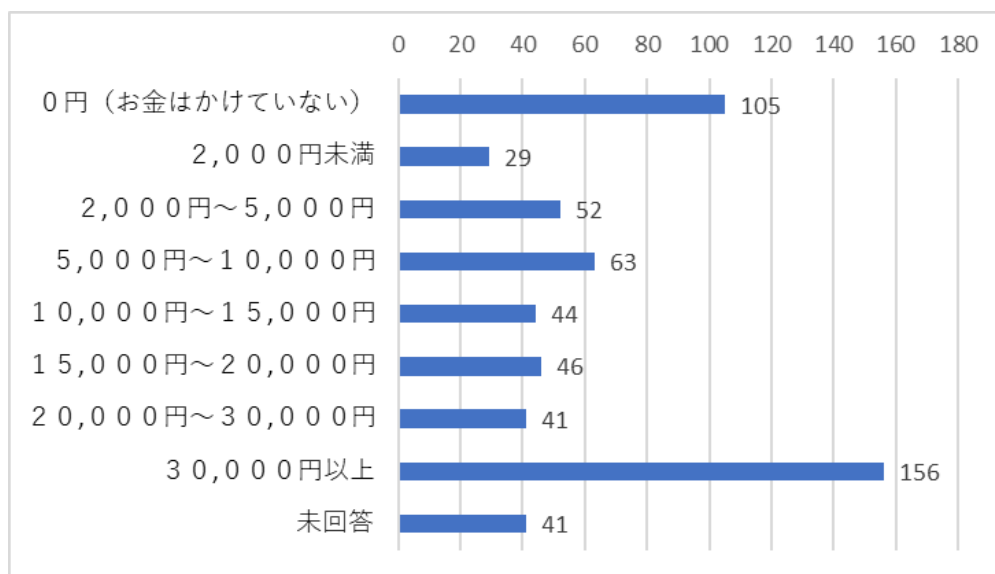


市内には6クラブが活動していますが、アンケートでは「知らない」と回答した方が多く、クラブの活動に触れる機会が少ないことが考えられます。

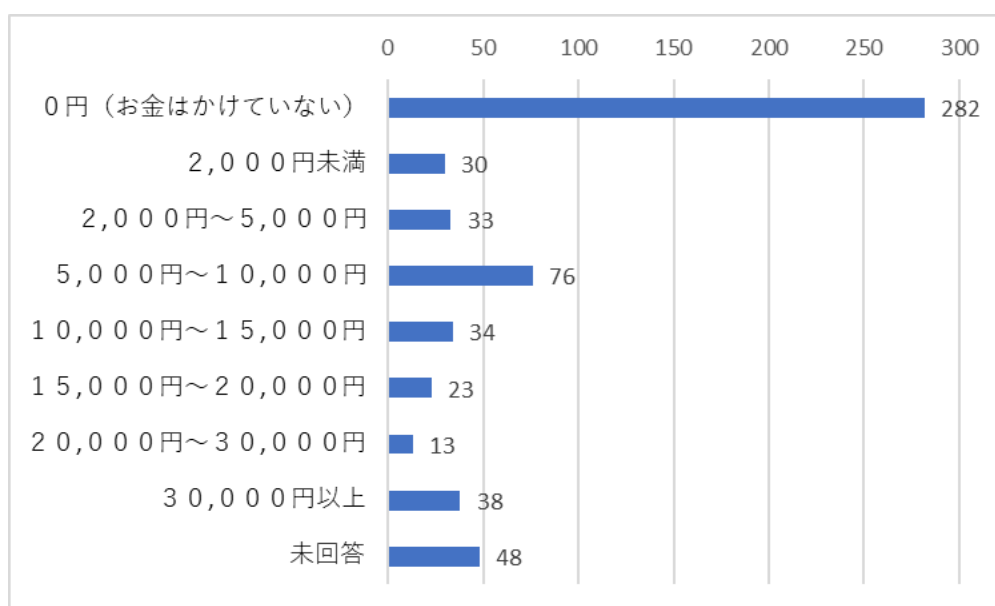
第2章 我孫子市のスポーツを取り巻く現状と課題

主なアンケート結果

あなたはご自身が実施するスポーツのために1年間にいくら程度費用をかけていますか。※飲料・サプリメント代等は含まない



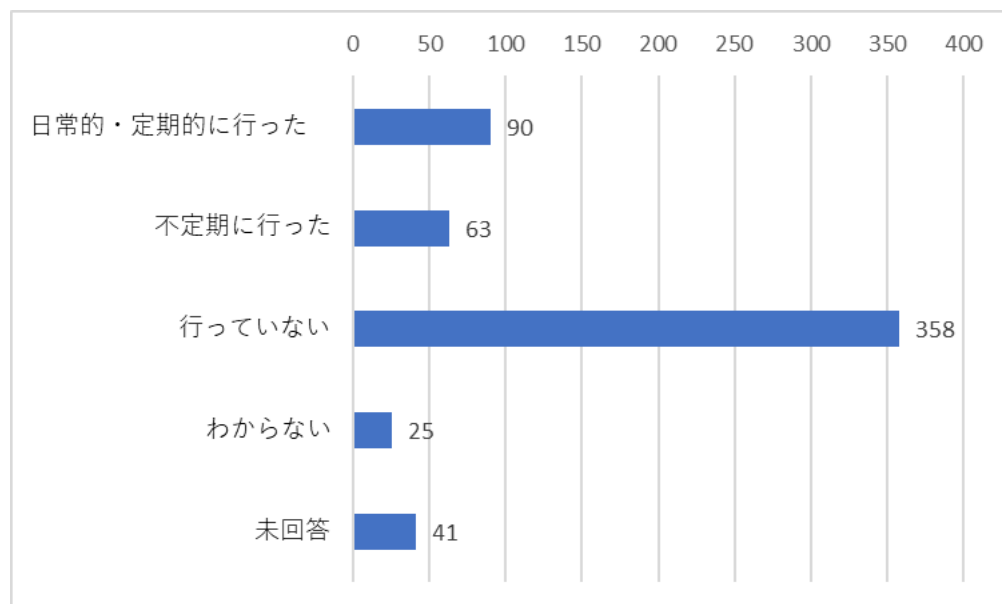
あなた自身が直接スポーツを観戦するために1年間にいくら程度費用をかけていますか。



自らが実際にスポーツに取り組む際には、シューズ等、ある程度費用をかけていることがわかります。一方で、スポーツ観戦のために費用をかける方は少なく、テレビ等で観戦する方が多いことが考えられます。

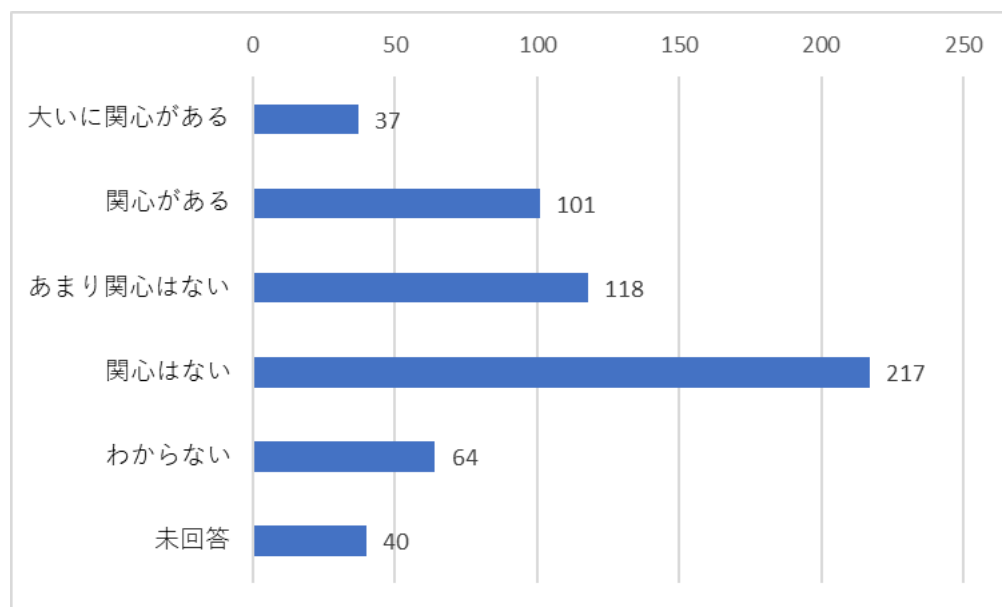
主なアンケート結果

この1年間にスポーツ指導や大会の運営、お子さんが所属するスポーツクラブの手伝い等、スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。



子どものスポーツクラブ等の手伝い等を行っている方がいる一方で、「行っていない」と回答した方が多数を占めました。自らが「する」スポーツに比べ、「支える」スポーツへの関心は低いことが考えられます。

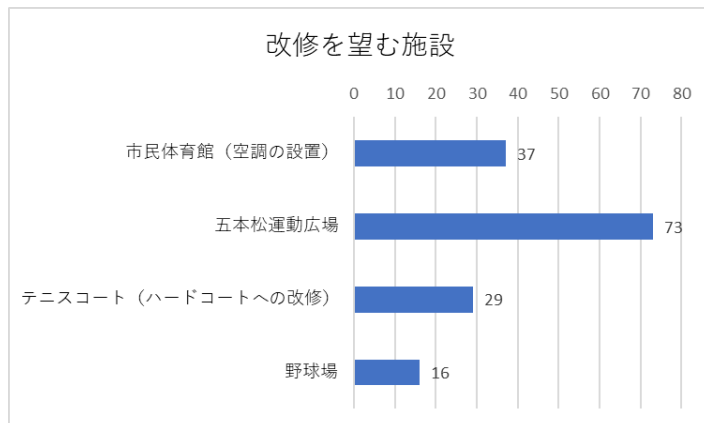
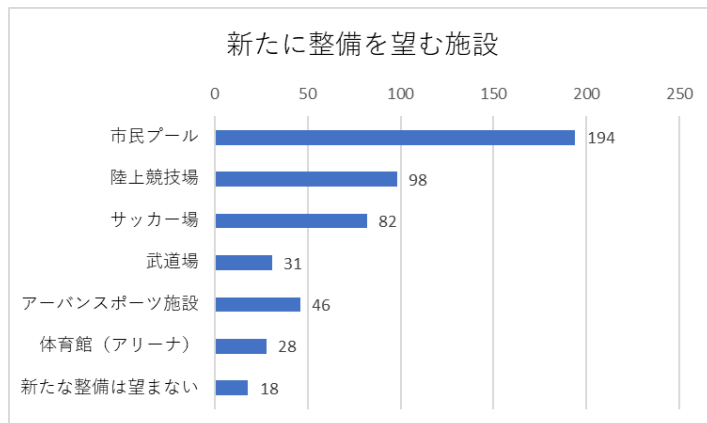
学校部活動の段階的な地域移行が検討されていますが、指導者として関わることに興味はありますか。



「興味はない」、「あまり興味はない」という回答が多いことから、部活動の地域移行については、まだ情報を知らない方が多いことが考えられます。また、地域移行に関する情報が少ないことで、具体的な内容を把握しづらいことも考えられます。

主なアンケート結果

市内の公共スポーツ施設について、新たに整備・改修を望む施設はありますか。



新たに整備を望む施設としては、「市民プール・陸上競技場・サッカー場」と回答した方が多く、市内にない施設が上位を占めました。また、改修を望む施設としては、「五本松運動広場」という回答が最も多く、魅力ある施設として、整備することが求められています。

アンケート総括

アンケート調査の結果では、多くの方が**健康や体力の向上**を目的にスポーツに取り組む一方、**仕事や家事、子育てが忙しい**ことから、スポーツに取り組む余裕がない方や、関心が低い方も一定数いることがわかりました。

自宅での映像視聴等、様々なコンテンツを用いることや、子育て世代の方に配慮した施設・イベント運営を行うことなど、忙しい方でも気軽に運動できるような情報発信等が必要です。

障害者スポーツに関する質問では、「関心がある」、「やや関心がある」方の数が「関心がない」、「あまり関心がない」方の数を上回りましたが、**「身近に障害者スポーツに関わっている人がいない」、「身近な場所でやっていない」という理由から**、「関心がない」、「あまり関心がない」と回答した方も3割強いました。パラスポーツ^(※)に関するイベント開催や情報発信の強化が必要です。

施設面では、市内スポーツ施設の**アクセスの悪さや**、市民プールや陸上競技場、サッカー場など、**我孫子市にない施設の整備**を望む声がありました。新施設の整備については、市民のニーズ把握に努めると共に、財政状況、維持管理に関するコスト等を勘案しながら検討する必要があります。

また、市で整備が難しい施設については、民間業者、近隣市との連携により、市民が利用可能な施設について情報発信し、市民のスポーツ実施機会創出につなげる必要があります。

* スポーツ実施率について、アンケート結果では、国の実施率よりも高い傾向となっていますが、スポーツ関連団体からの回答も多いため、潜在的には、取り組んでいない方が多いと考えられます。

* アンケートの総回答数が600件に満たないことや、10代、20代の回答数が少ないため、より多くの市民の声を施策に反映させていくためには、イベント等を活用したさらなる実態把握が必要です。

第3章 計画の構成



1. 基本理念

アンケート結果(実態把握)による、市のスポーツ施策に対する課題や、市民のニーズ、また、国の第3期スポーツ基本計画が目指す方向性を意識し、次のとおり基本理念を定めました。

子どもから大人まで

誰もが生涯にわたってスポーツに親しむまち

我・孫・子

市民誰もが、日常的にスポーツに親しみ、健康で活力ある生活を送り、スポーツを通じて喜びを分かち合う、潤いのある地域社会を目指します。



2. 基本目標

本計画の趣旨、基本理念を踏まえ以下のとおり基本目標を定めました。

基本目標1 スポーツの定着化



スポーツは、体力の維持・増進、健康増進、他者との交流等、豊かな人生を送る上で、不可欠なものとなっています。誰もがスポーツに親しむことができるよう、スポーツに参加する機会を創出し、スポーツの定着化を図ります。

基本目標2 スポーツ施設の有効活用と充実



スポーツを楽しむ、継続的に取り組むためには、スポーツ環境の整備が重要になります。既存施設の適切な維持・管理と効果的で効率的な運営、新たなスポーツ施設の整備検討を通じて、スポーツ環境の充実を図ります。

基本目標3 スポーツ活動を支える体制づくり



スポーツ実施率及び競技力の向上には、市内のスポーツ団体等との協力は不可欠です。スポーツ団体等との協力や支援を通じて、市内のスポーツ環境の向上に努めます。また、指導者育成のための講習会等を開催することで、スポーツに必要な人材育成を行います。

第4章 計画の重点施策



基本目標1 スポーツの定着化

(1) 子どもから大人まで誰もが生涯にわたってスポーツに参加できる環境の充実

年齢、性別等に関係なく、子どもから高齢者まで誰もがスポーツを楽しみ、子どもが夢を持ってスポーツに取り組める環境づくりを推進します。また、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー^(※)を活かした取り組みの実施等、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。

(2) スポーツによる健康増進

スポーツ活動を通じた健康増進により、健康寿命^(※)の延伸を図ります。また、医療・介護とスポーツの連携を促進し、市民の健康増進を図ります。

(3) パラスポーツの推進

パラスポーツを通じた地域交流、用具等の整備、体験機会の創出により、パラスポーツに取り組みやすい環境づくりを推進します。また、障害者、パラスポーツに対する理解を深めるための機会を提供します。

基本目標2 スポーツ施設の有効活用と充実

(4) 施設の整備と有効活用

既存施設の適切な維持・管理や学校、民間施設等の有効活用を通じて、安全安心にスポーツができる環境を提供します。また老朽化施設の改修・再整備については、施設に関する計画等に基づき、適切に進めていきます。五本松運動広場でのサッカー場(ラグビー場)整備、その他新施設の整備については、市民のニーズや財政状況等を勘案しながら検討します。

基本目標3 スポーツ活動を支える体制づくり

(5) スポーツ団体・プロスポーツチームの支援と協力・連携

我孫子市スポーツ協会、我孫子市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、我孫子市スポーツ推進委員^(※)連絡協議会と連携を図り、スポーツの振興を推進します。また、市内や近隣市を拠点とするプロスポーツチーム等を支援するとともに、協力関係を構築し、市の魅力向上を図ります。

(6) スポーツに取り組む方の支援とスポーツ指導者の育成

子どもから大人までスポーツに取り組む方の支援を推進します。また、講習会等の実施によりスポーツ指導者を育成します。

(1) 子どもから大人まで誰もが生涯にわたってスポーツに参加できる環境の充実

年齢、性別等に関係なく、子どもから高齢者まで誰もがスポーツを楽しみ、子どもが夢を持ってスポーツに取り組める環境づくりを推進します。また、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを活かした取り組みの実施等、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。

主な施策

①子ども、若者のスポーツ機会創出

親子向け事業の企画や様々なスポーツ種目が体験できる機会を通じて、子ども世代の運動実施率向上を図ると共に、子どもが夢を持ち、夢の実現に向けてスポーツに取り組める環境作りに努めます。さらに、スポーツに誰もが気軽に取り組めるようスポーツを行う場所の確保に努め、女性や子育て世代にも配慮（授乳スペース、休憩場所の確保等）した事業を展開します。

②イベント開催と東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーによる地域活性化

子どもから大人まで誰でも楽しむことができるスポーツイベントを開催します。また、イベントを通じて、地域や年齢、性別、国籍を問わず多くの方が交流することで、地域の活性化・交流人口の拡大を図ります。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック開催や事前キャンプによるスポーツへの関心の高まりとレガシーをまちづくりの取り組みに活かし、地方創生とスポーツの定着化を目指します。

我孫子市主催のスポーツイベント(一例)

種別	イベント名	対象
ランニング	手賀沼エコマラソン(10月)	18歳以上
	手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ(11月)	親子、小学生、チーム
	我孫子市新春マラソン大会(1月)	親子、小学生、一般
スポーツフェスタ	チャレンジスポーツフェスタ(10月)	どなたでも
	ファミリースポーツテスト(11月)	小学生以上
	ボールゲームフェスタ(3月)	親子、小学生
	ベースボールフェスティバル(11月)	小学生
パラスポーツ	パラスポーツ体験会(毎月)	どなたでも
ニュースポーツ ^(※)	ポールウォーキングを楽しむ会(年3回) 他	どなたでも

* 各イベントの実施月・対象は、令和4年現在のものであり、変更となる場合があります。

③学校部活動の改革推進^(※)

国の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、学校や市内スポーツ団体等と緊密に連携して、学校部活動の地域移行を推進することで、子どもたちが継続的にスポーツに取り組む機会を確保します。



イベントの様子

オリンピック事前キャンプの様子

(2) スポーツによる健康増進

スポーツ活動を通じた健康増進により、健康寿命の延伸を図ります。また、医療・介護とスポーツの連携を促進し、市民の健康増進を図ります。

主な施策

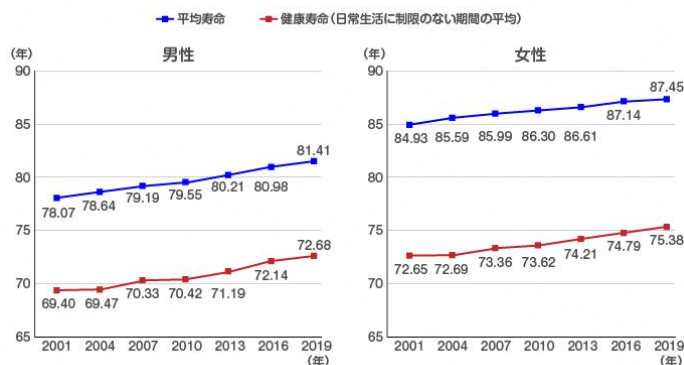
① スポーツを通じた健康寿命の延伸

健康寿命を延伸していくためには、適度な運動が不可欠です。身体活動量を増やすことは、体力の維持・増進のみならず、生活習慣病の発症リスク低下等、様々な効果が期待できます。

「ファミリースポーツテスト」の開催により、自身の体力を知ること、また、スポーツに取り組むきっかけ作りを行い、運動習慣の定着化を図り、健康寿命の延伸を目指します。

② 医療・介護とスポーツの連携

医療、介護、スポーツに関して市内の関係部署、関係機関で情報を共有し、SNS等を活用した情報発信を強化します。また、怪我の対処方法や予防方法等、スポーツ医学^(※)に関する情報把握・発信に努めると共に、関係機関とイベント等で連携することにより、市民の健康増進を推進します。



資料:

「厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト」より

スポーツを「つくる/はぐくむ」

スポーツに「誰もがアクセスできる」

(3) パラスポーツの推進

パラスポーツを通じた地域交流、用具等の整備、体験機会の創出により、パラスポーツに取り組みやすい環境づくりを推進します。また、障害者、パラスポーツに対する理解を深めるための機会を提供します。

主な施策

① パラスポーツの推進

障害の有無に関わらず、誰もがスポーツを楽しむことができるよう我孫子市スポーツ推進委員連絡協議会、学校等と連携し、定期的なパラスポーツイベントの開催や、SNS等を活用したイベント情報等の発信を行います。

また、千葉県障がい者スポーツ協会等と連携し、パラスポーツ指導に関する研修会を開催することで、パラスポーツに必要な指導者を育成します。

② パラスポーツ環境の整備

パラスポーツ用具の購入、貸し出し環境の整備を図ることで、パラスポーツに取り組みやすい環境を整えます。また、イベント会場の確保や用具の借用、スポーツを通じた交流等で特別支援学校等との連携を強化します。

(4) 施設の整備と有効活用

既存施設の適切な維持・管理や学校、民間施設等の有効活用を通じて、安全安心にスポーツができる環境を提供します。また老朽化施設の改修・再整備については、施設に関する計画等に基づき、適切に進めていきます。新施設の整備については、市民のニーズや財政状況等を勘案しながら検討します。

主な施策

①スポーツ施設の適切な維持・管理

市内スポーツ施設については、建築から36年が経過した市民体育館をはじめ、多くの施設で老朽化が進んでいます。今後も、市民が安全安心に利用することができるよう、「我孫子市民体育館長寿命化計画」及び「我孫子市屋外スポーツ施設個別施設計画」に基づき、計画的に改修等を実施していきます。改修・修繕にあたっては、障害者や高齢者も利用しやすい施設とするため、ユニバーサルデザイン^(※)を意識したものとします。

また、国際大会開催時の市内スポーツ施設への事前キャンプ等の誘致など、施設の有効活用を図り、スポーツ施設の活用を通じた交流人口の拡大を図ります。

②新サッカー場(ラグビー場)の整備推進、整備後の適切な維持・管理

本市には、年間を通して利用できるサッカー場がないことから、五本松運動広場にて計画しているサッカー場(ラグビー場)整備を推進します。

整備にあたっては、多目的に利用できることを前提に、市民のニーズに合った整備を行います。

③学校施設等(小学校・大学等)の有効活用

本市の公共スポーツ施設については、利用者数の増加が続き、一部の施設では予約が取りづらい状況が続いています。

現在実施している小中学校での学校施設開放に加え、市内の大学等と連携することで、施設利用機会の確保に努めます。

④取手市及び民間スポーツ施設業者との連携

我孫子市と取手市では施設の相互利用を可能とし、市民料金で利用できる協定を締結しています。また、我孫子市民であればミナトスポーツクラブ天王台の温水プールを会員になることなく利用可能です。

今後も近隣自治体、市内スポーツクラブ等との連携により、市民のスポーツに取り組む場の確保に努めると共に、制度概要をSNS等を活用して積極的に発信します。



野球場



体育館外観



庭球場

我孫子市民体育館

(5) スポーツ団体・プロスポーツチームの支援と協力・連携

我孫子市スポーツ協会、我孫子市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、我孫子市スポーツ推進委員連絡協議会と連携を図り、スポーツの振興を推進します。また、市内や近隣市を拠点とするプロスポーツチーム等を支援するとともに、協力関係を構築し、市の魅力向上を図ります。

主な施策

①NPO法人我孫子市スポーツ協会の支援・協力・連携

NPO法人我孫子市スポーツ協会と各種事業で連携することで、市のスポーツ振興を推進します。また、会場使用等、スポーツ協会の活動を継続的に支援します。

②我孫子市スポーツ少年団の支援・協力・連携

会場使用等、スポーツ少年団の活動を支援することで、子どもの健全な育成に努めます。また、スポーツ少年団活動を通じて、子どもの運動実施率向上を図ります。

③総合型地域スポーツクラブの支援・協力・連携

世代、種目に関係なく、誰もが身近な場所で気軽にスポーツを楽しめるように、総合型地域スポーツクラブの活動支援を行います。

④我孫子市スポーツ推進委員連絡協議会との連携

市内においてスポーツ指導等を担う我孫子市スポーツ推進委員連絡協議会と連携し、各世代に合わせた様々なスポーツ活動の支援を行います。また、スポーツ推進委員の活動を通じて、パラスポーツの推進を図ります。

⑤NECグリーンロケッツ東葛^(※)をはじめとした、プロスポーツチーム等の支援・協力・連携

NECグリーンロケッツ東葛、柏レイソル^(※)、大学等との協力により、チーム及び市の魅力向上に努めます。また、子どもへの指導、観戦機会の提供により、競技人口の増加を図ります。



中央学院大学駅伝部・硬式野球部



NECグリーンロケッツ東葛 「© NEC GREEN ROCKETS TOKATSU」



NECグリーンロケッツ東葛

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE (ジャパンラグビーリーグワン)に加盟するラグビーフットボールチームです。我孫子市に練習拠点を置き、東葛エリアをホームタウンとして活動しています。ラグビー日本選手権優勝3回、マイクロソフトカップ優勝1回の実績があり、2021年より現在のチーム名に改称しました。

我孫子市とNECグリーンロケッツ東葛は、令和2年度、ラグビーを通じて地域振興、地域貢献に取り組み、市民サービスの向上及び健康増進、豊かな社会生活を実現することを目的に相互連携協定を締結しています。

(6) スポーツに取り組む方の支援とスポーツ指導者の育成

子どもから大人まで、スポーツに取り組む方の支援を推進します。また、講習会等の実施によりスポーツ指導者を育成します。

主な施策

① 奨励制度等の充実とスポーツ振興表彰

我孫子市スポーツ大会出場奨励金や全国大会、世界大会で優秀な成績を収めた方を表彰する「我孫子市教育委員会スポーツ振興表彰」を通じてアスリートの支援と当該競技の普及啓発を行います。また、アスリートの経験を次世代に還元できるような講習会等をはじめとした仕組みづくりを検討します。

② 我孫子市公認スポーツ指導者養成講習会の開催

日本スポーツ協会公認資格取得可能な講習会を実施することにより、市内で活躍する指導者を育成します。

また、我孫子市独自科目を設定することで、指導者に必要な基礎的な資格に加え、市内でスポーツ指導を行う上で必要と考えられる知識や技術を身に付けた人材の育成を図り、市内の大会やイベントでのスポーツボランティアをはじめ、各団体への紹介等を通じて、スポーツを「する」人が適切な指導を受けられる環境作りを推進します。

(令和4年度は、市内外の大学や民間企業等から講師をお招きし、千葉県内の自治体で我孫子市が唯一開催しました。)

我孫子市独自科目の一例

講義名	内容
アンガーマネジメント	怒りと上手に向き合う方法を学びます。指導者による体罰等が問題になる中、競技者がスポーツに親しむ上で、指導者に求められる大切な要素です。
パラスポーツ講習	障害者のスポーツに取り組みやすい環境づくりには、指導者のパラスポーツに対する理解が重要です。座学・実技を通じて指導方法、接し方を学びます。
筋膜リリース	筋膜の特徴・役割について学びます。身体や筋肉・筋膜の特徴を理解することは、運動能力の向上、怪我の防止にも有効です。座学終了後、実際に筋膜リリースを体験します。



我孫子市公認スポーツ指導者養成講習会の様子

用語集・資料集



用語集(あ～ん、A～Z)

用語	内容
学校部活動の改革推進(P23)	少子化が進展する中、従来と同様な学校部活動の継続が困難となってきています。このため、国は、地域の実情に合わせ、学校部活動を地域が主体となる「地域クラブ活動」へ移行するとしています。
オリンピック・パラリンピックのレガシー(P22・23)	オリンピック・パラリンピック競技大会、事前キャンプ等の開催により開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵のことを指します。
柏レイソル(P26)	柏市を本拠地とし、我孫子市を含めた8市をホームタウンエリアとして活動している、Jリーグ所属のサッカークラブです。
健康寿命(P22・24)	「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことをいい、日本の健康寿命(2019(令和元)年)は男性72.68歳、女性75.38歳となっています。
第3期スポーツ基本計画(P4・5・6・19)	今後のスポーツの在り方を見据え、令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)までの5年間で取り組むべき、施策や目標等を定めた国の計画です。
第13次千葉県体育・スポーツ推進計画(P4・5)	国の第3期スポーツ基本計画を踏まえ、令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)までの5年間で取り組むべき、施策や目標等を定めた千葉県の計画です。
スポーツ医学(P24)	スポーツによる外傷や障害の治療および予防のほか、リハビリテーションやロコモティブシンドローム(運動器の障害によって要介護になるリスクが高い状態になること)対策等としての体力作りや健康増進など幅広い分野を対象とする医学分野のことを指します。
スポーツ少年団(P9・22・26)	子どもたちが自主的にメンバーとして参加し、「自由時間に、地域社会で、スポーツを中心としたグループ活動を行う」団体です。
スポーツ推進委員(P22・24・26)	スポーツ推進事業の実施に係る連絡調整や住民に対するスポーツ実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行います。
生活習慣病(P4・24)	食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称です。日本人の死因の上位を占める、がんや心臓病、脳卒中は、生活習慣病に含まれます。
総合型地域スポーツクラブ(P9・14・22・26)	多世代、多種目で身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブです。初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営しています。
パラスポーツ(P17・22・23・24・26・27)	一般のスポーツをベースに障害の種類や程度に応じてルール等を工夫しているスポーツで、障害の有無に関係なく、誰でも楽しめるスポーツなどの総称です。
ニュースポーツ(P23)	20世紀後半以降に新たに考案されたスポーツで、主に軽スポーツやレクリエーションスポーツを指すことが多く、勝敗にこだわらず気軽に楽しむことを目的としていることが特徴です。
ライフステージ(P4)	人の誕生から成長発展の過程について、乳幼児期、学童期、青年期、成人・壮年期、高齢期など、人生をいくつかの段階に区分けしたことを指します。
ユニバーサルデザイン(P25)	文化・言語・国籍や年齢・性別等の違いにかかわらず、出来るだけ多くの人々が利用できることを目指した建築・製品のことを指します。
eスポーツ(P4)	「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技としてとらえる際の名称です。
NECグリーンロケッツ東葛(P26)	ジャパンラグビーリーグワンに加盟するラグビーフットボールチームであり、我孫子市に練習拠点を置き、東葛エリアをホームタウンとしています。

イベント参加者数(人)/年度

イベント名	H29	H30	H31	R2	R3
市民体育大会	4,102	4,598	2,924	617	877
チャレンジスポーツフェスタ	—	—	346	中止	中止
手賀沼エコマラソン	10,725	10,806	10,850	中止	中止
ファミリースポーツテスト	98	63	52	中止	201
手賀沼・チームランキッズランうなぎちカップ	414	512	458	597	中止
新春マラソン大会	2,154	2,108	1,801	中止	中止

* 手賀沼エコマラソン、手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ、新春マラソン大会はエントリー者数

スポーツ施設利用者数(人)/年度

施設名	H29	H30	H31	R2	R3
我孫子市民体育館及び有料公園施設※1	225,363	240,528	203,519	122,518	192,869
五本松運動広場	13,315	14,167	13,579	10,234	15,044
つくし野多目的運動広場	8,848	9,402	9,786	6,638	8,306

※1有料公園施設…利根川ゆうゆう公園サッカー場・野球場、湖北台中央公園野球場・庭球場、手賀沼公園庭球場

市民文化スポーツ栄誉章受章者(スポーツ関係のみ)

氏名	受章年	功績
今井 友明	令和3年	2016年リオデジャネイロパラリンピック及び東京2020パラリンピックの車いすラグビー日本代表の要としてチームをけん引し、2大会連続銅メダルを獲得。
田嶋 幸三	令和2年	平成18年財団法人日本サッカー協会専務理事就任、以降日本サッカー協会役員を歴任。平成26年東アジアサッカー連盟会長及び公益財団法人日本サッカー協会会長就任。
太田 治		ラグビー日本代表や7人制日本代表に携わるとともに、平成28年からジャパンラグビートップリーグの運営に関わるなど、日本ラグビー界の発展に尽力している。令和元年ジャパンラグビートップリーグ第3代チェアマン就任。
海老原 清治		プロゴルファーとして、昭和60年レギュラーツアー初優勝(中日クラウンズ)をはじめ、平成14年日本人男子プロ初の欧州ツアー賞金王を獲得するなど、世界を舞台に顕著な成績を残している。令和2年日本ゴルフ殿堂入り。
金子 誠	平成16年	アテネオリンピック野球競技に日本チームの一員として参加、銅メダルを獲得。
林 由郎	平成14年	プロゴルファーとして、関東プロ2勝、日本オープン2勝、日本プロ4勝など輝かしい成績を収める。
檜崎 教子	平成12年	シドニーオリンピック柔道女子52キログラム級、銀メダル獲得。アトランタオリンピック、銅メダル、バーミンガム世界選手権金メダルなど、輝かしい成績を収める。
青木 功	昭和58年	昭和58年ハワイアンオープンゴルフトーナメント(日本人初のアメリカPGAツアー)優勝。その他プロゴルファーとして世界を舞台に輝かしい成績を収める。

計画策定経過

日付	内容
令和4年7月7日	第1回我孫子市スポーツ推進計画策定委員会
令和4年7月25日～9月10日	我孫子市スポーツ推進計画策定に係るアンケート調査
令和4年9月20日	第2回我孫子市スポーツ推進計画策定委員会
令和4年12月6日	第3回我孫子市スポーツ推進計画策定委員会
令和4年12月22日～5年1月23日	パブリックコメント
令和5年2月7日	第4回我孫子市スポーツ推進計画策定委員会
令和5年3月	策定

策定委員

氏名(役職)	所属先
藤原 昌樹(委員長)	学識経験者
山口 友紀	公募市民委員
川喜田 靖彦	スポーツ関係団体
近藤 吉光	スポーツ関係団体
岡島 洋次(副委員長)	スポーツ関係団体
岸本 光司	我孫子市立我孫子第四小学校
山内 和利	我孫子市立湖北台中学校
岩崎 隼介	千葉県立湖北特別支援学校

出典・参考

- ・(一社)日本eスポーツ連合オフィシャルサイト <https://jesu.or.jp/>
- ・スポーツ庁ホームページ <https://www.mext.go.jp/sports/>
- ・厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト <https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/>
- ・東京都オリンピック・パラリンピック調整部 大会後のレガシーを見据えた取組-2020のその先へ-
<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaiyunbi/torikumi/legacy/index.html>
- ・NECグリーンロケッツ東葛オフィシャルサイト <https://green.necrockets.net/>
- ・柏レイソルオフィシャルサイト <https://www.reysol.co.jp/>
- ・国連広報センターホームページ <https://www.unic.or.jp/>



我孫子市スポーツ推進計画

〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子1684番地
我孫子市教育委員会 生涯学習部 文化・スポーツ課
電話:04-7185-1604 FAX:04-7185-1760